

# 近畿学校保健学会通信

No. 51

昭和60年1月17日  
近畿学校保健学会事務所  
〒543 大阪市天王寺区南河堀町4  
大阪教育大学保健学教室内  
☎ 06-771-8131 (内線242)

## 第32回 近畿学校保健学会(昭和60年度年次学会)開催要項

1. 会 長 奈良教育大学教授 中牟田 正 幸
2. 事 務 局 〒630 奈良市高畑町 奈良教育大学保健体育学教室  
第32回近畿学校保健学会事務局  
(事務局長 奈良教育大学教授 竹内宏一)  
(0742)26-1101(代)内線651(中牟田)、654(竹内)
3. 開 催 期 日 昭和60年6月29日(土)
4. 会 場 奈良市立中央公民館  
〒630 奈良市上三条町23-4  
(近鉄および国鉄奈良駅からいづれも約5分、旧中央郵便局の跡)  
(0742)26-6506
5. 日 程 受付 9:00 ~一般演題発表午前中2会場にて、午後~総会・特別講演・シンポジウム等
6. 会 費 正 会 員 3,000円(事務所へ納入)  
当 日 会 員 2,000円(含資料代)
7. 参 加 申 込 近畿内外を問わず、当日飛び入りでも結構ですが、返信用封筒(宛名及び60円切手付)を第32回事務局宛送付いただければ、6月中旬までにプログラムその他詳細を掲載した「学会通信」を発送致します。  
なお、一般演題発表希望者は共同研究発表者も含めて正会員になる必要があります。至急ご連絡下さい。(4月30日演題申込〆切、5月31日口演予稿集原稿(仕上りB5版1頁)〆切の予定)
8. 一般演題申込 発表希望者は、別紙申込み用紙に必要事項を記入の上4月30日(必着)までに第32回学会事務局宛申し込んで下さい。  
折返し予稿集用オフセット印刷原稿用紙を発送します。

## 第31回近畿学校保健学会を終えて

第31回近畿学校保健学会会長 後藤英二

昭和59年7月8日(日)、大阪ガーデンパレスにおいて催された第31回近畿学校保健学会は、研究発表29題、メインテーマを「最近の子どもの発育・発達の特徴と学校保健」として、予定通り無事終了致しました。多数の発表とこれに対する活発な討論は、学校保健に対する会員の方々の熱意をそのまま反映したものであり、皆様とともに喜び申し上げる次第です。

近年、子どもたちの健康と安全を守る学問としての学校保健学が直面する問題として、子どもたちの心身の発育・発達の歪みが、保健教育・管理に影響を与えているということがあります。このような危機感が今回のメインテーマを生んだともいえるでしょう。

その原因が我国の社会の中で子どもたちの生活のゆがみにあるだろうということも想像されます。そのゆがみを発見する努力の具体化が学習意欲、性教育をふくむ保健教育上の問題、過栄養、体力、歯の健康、事故災害と生活などに示されるものであり、このようなテーマを扱った演題が多くみられました。

本学会も、31年の歴史の積みかさねにより、事務所も定置され、地方学会として、小さくはあるが会員も定着し、新しい学校保健学への方向を目指して、出発したと考えられます。

いずれにしても、学校医・学校歯科医・学校薬剤師、保健主事や養護教諭の先生方ができるだけ多くの会員として参加され、この学会のために努力していただきたいと希望致します。

最後になりましたが、今回の学会に寄せられた皆様の御好意と、学会事務局のお骨折りに心から感謝をささげます。

## 第32回近畿学校保健学会の開催にあたって

第32回近畿学校保健学会会長 中牟田正幸

時下、会員の先生方にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、第32回近畿学校保健学会は来たる6月29日(土)に奈良市立中央公民館(奈良市上三条町)を会場として開催されますが、図らずも小生が学会長としてそのお世話をすることになりました。小生、もとより微力で学会長の任にあらずと思いますが、先輩各位の暖かいご指導とご支援を得まして、より実のりのある学会になるよう努力する積りでございます。

いうまでもなく、学校保健の目的・目標とするところは、教育基本法(教育の目的)及び学校教育法(教育の目標)に明記されている学校教育のそれと同様に、児童・生徒の健康の保持増進

を図るとともに、国民として必要な健康生活の実践を養うことにあります。したがって、本学会もその趣旨に則り開催されるものであり、特に「学校現場により反映する学校保健」を探究する学会でなければなりません。

本学会の内容としては、一般口演をはじめ、特別講演及びシンポジウムを用意してあります。殊に、特別講演では、「これからの学校保健と養護教諭（仮題）」と題し、その道の専門家の方（未定）に、またシンポジウムでは、「養護教諭の課題と展望（仮題）」と題して、学識経験豊かな数名の養護教諭の方（未定）に、ご講演あるいはご提言願いまして討論の場にしたいと思っております。上記の演題による催しは決して新しい企画ではありませんが、時代の流れに即応して2～3の問題に焦点を絞っていただき、密度の高い有意義な特別講演であり、またシンポジウムでありたいと念願しております。そもそも学校保健の特徴はこれに関係する方が非常に多いことでもあります。特に、保健主事や養護教諭の先生方は日常学校保健活動の中心的存在であります。そういった意味において、上記の特別講演やシンポジウムが学校現場の先生方により役立てばと思ひ企画しました。

会員の先生方には上述のような学会開催の主旨と内容を十分にご理解願ひ、従前にも増して多数のご参加を期待しております。学会は単に研究発表や討議の場だけでなく、会員相互の交流を深める上にも絶好の機会でもあります。どうぞ奮ってご参加されるようお待ち申し上げます。

## 昭和59年度第4回幹事会報告

1. 日 時 昭和59年12月1日（土） 14:30～17:30
2. 場 所 シグナルセンタービル会議室
3. 出席者 15名
4. 案 件 (1) 第32回学会について

第32回年次学会会長中牟田先生、事務局長竹内先生より第32回学会を昭和60年6月29日（土）に奈良市立中央公民館で開催し、「養護教諭と学校保健」を中心にした特別講演、シンポジウムをおこなうことを報告、了承された。

- (2) 「学会役員選出方法」について

昭和61年度よりの学会役員選出方法を検討するため、幹事各府県一名ずつの「検討小委員」を選び、幹事会での原案作成のための基本案をつくることになった。なお、小委員は次の幹事である。大山（大阪）、武田（和歌山）、林（滋賀）、米田（京都）、橘（奈良）、美崎（兵庫）。

## 第32回 近畿学校保健学会演題申込み用紙 (下記必読)

(1題1葉に記入のこと。※印欄は記入しないこと。)

演題名	
発表者氏名、所属(連名で発表の場合は演者に○印、新入会員に*印)	
連絡先	TEL ( )
住所	
氏名	
発表要旨(100字ぐらい)	
※受付番号： _____  原稿発送： _____月 _____日  :	演題番号： _____  発表時刻：午前 _____時 _____分  会場： A . B

申込用紙不足の場合は、これと同じ様式のものを用いて下さい。

.....(切り取り線).....

### 記

1. 口演内容は学校保健の立場に立脚し、具体的な資料にもとづいた研究発表を希望します。
2. 演者は近畿地区に在住または勤務する方に限ります。連名で発表の共同研究者は近畿地区外の方でもかまいません。発表者は原則として会費を前納して下さい。
3. 演題申込みはこの用紙(または同様式)に必要な事項を記入し、昭和60年4月30日(火)までに第32回学会事務局あてお送り下さい。折返し予稿集作成用の所定の原稿用紙をお送りします。